

佐久の先人 執筆要項

(1) 表記

- 西暦と元号 西暦は漢数字 原元号・年月日は数字 一九四五(昭和20)年8月15日
- 時間・時刻 午前9時 午後1時30分
- 新聞日付 一九四五(昭和20)年1月1日付『信濃毎日新聞』
- 人数 漢数字 一五〇人 四万四二〇〇人 二人のうち一人は… 定員四〇人
- 年数 漢数字 一年間 一年後 四四年間連続
- 年齢 数字 22歳 36才7か月 か(ひらがな)
- 地名・自治体名 ・協和村土林(現佐久市協和) 畑八村〇〇(現佐久穂町〇〇)
 - ・上伊那郡長藤村(現伊那市高遠町長藤) 佐久市以外は郡名をつける
- 学校名 ・小諸商業学校(現小諸商業高校) 高校
 - ・南佐久郡立乙種学校(のちの白田高校、現佐久平総合技術高校白田キャンパス)
- 学年 1年 5年

(2) 参考文献と引用文献・資料

- 参考文献：参考・参照・引用程度が多い文献
 - ・『白球にかけた青春…』『白高百年史』『佐久の水三十年史』
- 引用文献：文中に典拠・出典明示(出版社・出版年などはなし)、参考文献には挙げない
 - ・若月は「…」と回想している(『村で病氣とたたかう』)。
 - ・野沢中学一年生は、昭和36年度長野県水道週間に応募した作文「家に水道が入って」で「…」と書いている(『作文集のタイトル』)。
 - ・9月〇〇日発行の『佐久水道新聞』第2号には、次のように書かれている。
 - ・出場させ、「初の女性教師となった…活躍をみせた」(『岳南会ニュース』第10号、平成12年1月1日)
- 語り・記録からの引用・紹介
 - ・エピソードは1・2つ 典拠・出所は明示不要。…といったエピソードがある。
 - ・語り 小澤英世は思い出を「…」と語っている。典拠明示不要、何回も語り。
 - ・小林玲子は経緯を、次のように述べている。
- 改行「…」(〇年〇月聞き取り)
 - ・中島基春は「…」と書き残している(『出典』)。
- (3) 内容面
 - つり見出し その段落の内容が分かる表現、印象的な言葉「…」
 - 「象徴的な言葉」、難解な表現は、平易な表現で解説する
 - ・人の先に立って物事を行う「率先垂範」の精神で…
 - 史実・内容で指摘や問い合わせがないような内容・表現を心がける
 - ・「わが国初の地方広域水道を建設」「わが国初の地方地域水道のモデルケース」根拠明示
 - 記念碑・頌徳碑・胸像などの文章はなるべく引用する
 - 写真 いつ頃撮影されたものか、いつごろの写真か明示(〇年頃、〇歳の頃、〇年〇月)
 - その他 旧〇町・〇村、当時、人物敬称、氏、さん、先生